



EFEL

Everlasting Friendship through English Language



2023年度 EFEL臨時総会 議案書

2023年8月5日（土）

オンライン開催 10～12時（日本時間）

開催日 : **2023年8月5日(土) (日本時間)**

日本時間 : **10:00 - 12:00**

ベトナム : **8月5日 (土) 8:00 - 10:00**

米国東部 : **8月4日 (金) 21:00 - 23:00**

米国中西部 : **8月4日 (金) 20:00 - 22:00**

米国西部 : **8月4日 (金) 18:00 - 20:00**

開催場所 : **オンライン**

ミーティング ID : **857 3561 6601 (Zoom)**

パスコード : **786707**

臨時総会 参加者実績 (敬称略、卒業年代順)

本日の参加、どうもありがとうございます！

2023年8月5日

○：参加、△：早退、▽：遅れて参加、

No.	氏名	卒業年度	所属セクション	経験業種/職種	現住所	総会	EFEL役職等
1	越智恵子	1969	会話	塾経営	兵庫	○	年代別実行委員
2	南村栄一	1972	政経	電機	大阪	○	元副会長
3	中村秀二	1973	文学	教員/塾経営	熊本	○	外大同窓会九州支部長
4	重成美雪	1975	社会学	教員	北海道	○	新副会長(財務会計)
5	北尾妙子	1975	ディスカッション	教員	千葉	○	
6	柿崎紀明	1978	政経	電機	神奈川	○	年代別実行委員
7	水野明洋	1978	政経/ディスカッション	自動車/旅行	東京	○	会長
8	姜 泳樺	1978	ディスカッション	証券・サービス・人材紹介	東京	○	
9	野々山浩代	1981	ディスカッション	グローバル・ビジネス・アドバイザー	カリフォルニア	○	アメリカBLリーダー
10	山下純一	1982	ディスカッション	小売業	東京	▽	新年代別実行委員
11	細川幸治	1983	ディスカッション	金融	ニュージャージー	○	副会長(現財務会計)
12	藤澤リエ	1983	政経	情報通信	神奈川	○	実行委員(現財務会計)
13	丸谷一也	1985	ディスカッション	電機/モーター/医療	大阪	○	副会長(広報)
14	仙台謙三	1989	ディスカッション	議員	石川	○	北陸BLリーダー
15	遠藤秀剛	1990	ディスカッション	電機	新潟	△	副会長(事務局) 早退
16	長嶋俊樹	1990	歴史	機械製造(海外業務)	大阪	△	年代別実行委員 早退
17	国吉正幸	1992	スピーチ	商社	イリノイ(シカゴ)	○	
18	野崎泰弘	1995	World Studying	製造	オハイオ	○	
19	与十田将也	1997	ディスカッション	教員	兵庫	○	実行委員(事務局)
20	川原アーサー	2000	ディスカッション	弁護士	カリフォルニア	○	
21	森山翔太	2012	ガイド	運輸(国際物流)	ベトナム	○	新年代別実行委員
22	長森好美	2023	スピーチ	小売業(化粧品)	埼玉	○	
23	川鱈祐子	---	ディスカッション	歌手	岐阜	△	早退
計						23名	

参加人数実績 (23名)

EFEL臨時総会 式次第

1. 開会挨拶・参加者紹介		会長	水野 明洋
2. 議事・議長選出		会長	水野 明洋
3. 審議議案			
① 副会長人事(承認後 退任/新任者挨拶)		会長	水野 明洋
② 予算年度(期間) 見直し提案		会長	水野 明洋
③ 2022年度 事業報告		副会長	丸谷 一也 【広報】
		会長	水野 明洋 【事務局】
			※遠藤副会長の代理報告
④ 同 決算報告(FEEL基金含む)		副会長	細川 幸治 【財務・会計】
⑤ 同 監査報告		監査役	杉本 洋之/田坪 紀美 * 兩名欠席
			※細川副会長が代理報告
⑥ 2023-24年度 事業計画		副会長	細川 幸治 【企画総務】
⑦ 同		副会長	丸谷 一也 【活動推進・広報】
⑧ 同 予算計画		新副会長	重成 美雪 【財務・会計】
⑨ EFEL基金 運営委員見直し		委員長	水野 明洋
⑩ 会則改定		会長	水野 明洋
4. 閉会挨拶		副会長	細川 幸治

副会長人事/役職名変更

(敬称略)

旧役職名

- ① **事務局担当 副会長**
遠藤 秀剛
- ② **財務会計担当 副会長**
細川 幸治
- ③ **広報担当 副会長**
丸谷 一也

変更内容

- ① 役職名/担当者
- ② 担当者
- ③ 役職名

新役職名

- ① **企画・総務担当 副会長**
細川 幸治
- ② **財務会計担当 副会長**
重成 美雪 (任期:23年8月~24年9月)
- ③ **活動推進・広報担当 副会長**
丸谷 一也

(ご参考)【EFEL会則 第6条 (役員)】

本会は、次の役員をおき役員会を構成する。役員は全て総会で選出し、その任期は2年とし再任は妨げない。
欠員補充によって就任した役員の任期は、前任者の残余期間とする。

(注) 財務会計実行委員 藤澤リエ :

アメリカ在住 細川副会長の異動に伴い、日本側での通帳管理サポートが不要となるため退任。

	新役職名	(変更背景) 業務内容・分担の明確化で効率運営
①	企画・総務担当	親睦を深める活動企画提案/名簿・活動・運営・各種スケジュール管理など
②	活動推進・広報担当	全体活動推進・運営 と HP・SNSの有効活用等による各種情報発信

組織表 2023年度EFEL役員/実行委員

(敬称略)

EFEL

Everlasting Friendship through English Language

2023年8月5日

役職	新任：変更	退任	2023年8月5日	
	氏名	卒業年度	住所	担当
名誉顧問	谷本 榮子		大阪府	理事長・総長
相談役	根来 繁雄 本出 良一	1970年 1972年	千葉県 奈良県	
会長	水野 明洋	1978年	東京都	
副会長（財務会計）	重盛 美雪	1975年	北海道	■新任
副会長（事務局）	遠藤 秀剛	1990年	新潟	■退任
副会長（企画・総務）	細川 幸治	1983年	アメリカ	■担当及び担当名称変更
副会長（活動推進・広報）	丸谷 一也	1985年	大阪府	■担当名称変更
実行委員（財務会計）	藤澤 リ工	1983年	神奈川県	■退任
実行委員（企画・総務）	与十田 将也	1997年	兵庫県	役員会議メンバー
実行委員（活動推進・広報）	賀儀山 泰志	2011年	岡山県	役員会議メンバー
実行委員（ブロック別）	水野 明洋 岸田 茂 仙台 謙三 与十田 将也 稲垣 晋介 梅田 敏文 野々山 浩代	1978年 1978年 1989年 1997年 2001年 1976年 1981年	東京都 愛知県 石川県 兵庫県 岡山県 熊本県 カリフォルニア	関東/北海道 中部 北陸 関西 中国/四国 九州/沖縄 アメリカ
監査役	杉本 洋之 田坪 紀美	1979年 1984年	奈良県 大阪府	

2023年8月5日

役職	氏名	卒業年度	住所	担当	
実行委員（年代別）	越智 恵子	1969年	兵庫県	(1968~1975)	
	渡嘉敷 良一	1976年	千葉県		
	柿崎 紀明	1977年	神奈川県		
	江並 啓治	1978年	大阪府		
	杉本 洋之	1979年	奈良県		
	山下 純一	1982年	東京都		■新任
	細川 幸治	1983年	アメリカ		
	藤澤 リ工	1983年	神奈川県		副実行委員1983年
	田坪 紀美	1984年	大阪府		
	井端 義人	1986年	神奈川県		
	長嶋 俊樹	1990年	大阪府		
	中塚 裕己	1992年	東京都		
	斎藤 周一	1995年	茨城県		
	国生 大作	1996年	埼玉県		
	与十田 将也	1997年	兵庫県	(兼)地区別実行委員	
	家中 潤	1998年	福岡県		
	布川 俊明	2008年	滋賀県		
	稲垣 晋介	2001年	岡山県	(兼)地区別実行委員	
	賀儀山 泰志	2011年	岡山県		
	森山 翔太	2012年	ベトナム	■新任	
	鈴木 真由	2017年	東京都		
	寺田 瑞希	2016年	東京都	■退任	
	森 美月	2022年	三重県		
	堀井 梨紗	2023年	京都府	■新任	
準会員（ESS）	袈川 ひな	3 回生	大阪府	EFEL現役窓口	

今まで長い間、どうもありがとうございました！

※退任

事務局担当 副会長
財務会計実行委員

遠藤 秀剛
藤澤 リエ



そして、これからよろしくお願い致します！

※新任

財務会計担当 副会長 重成 美雪



よろしく申し上げます



予算年度(期間)見直し提案

※現行予算年度(期間)の問題点

- ① 3月に前年度の決算が終了しているにもかかわらず、7月ケ後の10月末開催総会で審議。
- ② 新しい年度が4月よりスタートしているのに、事業計画は7月ケ後の10月末に総会で審議。

※新予算年度(期間)の提案

- ① **新期間は10月～翌年9月として、毎年10月末に前年度の決算報告を行う。**
但し、**8月頃にオンライン総会を行い、前年度事業結果 及び 新年度の事業計画を報告する。**

年度	予算期間 (活動計画期間)	総会時期 (活動計画承認タイミング)	備考
2022年度	'22年4月～'23年3月(12ヶ月)	'22年10月28日(土)	対面/オンライン総会
2023年度	'23年4月～'23年9月(6ヶ月)	'23年 8月5日(土)	オンライン臨時総会
2024年度	'23年10月～'24年9月(12ヶ月)	'23年10月28日(土)	対面/オンライン総会
2025年度	'24年10月～'25年9月(12ヶ月)	'24年 8月頃	オンライン総会
2025年度	'24年10月～'25年9月(12ヶ月)	'24年10月26日(土)	対面決算報告会

過渡期
措置

新期間

EFEL会 会議時間の短縮化の提案

【1】2024年度(23年10月28日予定)の総会：

外大同窓会同様に30分以内で終了を目標とする。

【2】2025年度以降：

8月頃オンライン総会、前年度事業結果 及び 新年度の事業計画を報告。
審議時間を十分確保する。

10月末に前年度の決算を中心に報告。(目標：30分以内)

◆◆外大祭(ホームcomingデー)時のEFEL会イベント◆◆

～ 交流・懇親により重きを置く ～

- ① EFEL会内交流・懇親：約1時間 年代別/ブロック別/職業別などのGroupを検討。
- ② 現役生との交流・懇親：約1時間 セクション別で検討。(主に1・2回生対象)
- ③ ②に不参加の現役生との交流・懇親： 夕食懇親会 (主に3・4回生対象)



2022年度 活動全般 振り返り

水野 会長

イベントはオンライン中心に展開
【課題】 アクティブな会員の拡大！

広報掲載情報の質向上は出来たが、会員拡大が課題

領域	評価	目標	目的・アクション
活動	◎ △ ○ ◎ ○	①広報対象領域 拡大と掲載情報の質向上 ②会員拡大と財政強化 ③各地区(ブロック)/年代別 交流会・懇親会 ④外大同窓会 九州/北陸支部設立総会に合わせたEFEL懇親会サポート。 ⑥イベント全般	①OBOGへの活動理解促進の為。 ②EFEL活動 賛同者増による展開。 ③OBOG間のコミュニケーション促進。(Zoom利用) ④九州：22年9月24日開催 会員10名参加 北陸：23年7月 9日開催 会員10名参加 ⑥コロナの為、当面オンライン開催。 収束次第、対面活動復活。 交通費、時間などの節約の為、対面式が復活しても並行継続。
システム	○	①Zoomアカウント：会員に開示し利用促進	①OBOGのコミュニケーション促進の為
パンフ	○	①歴代パンフHP掲載とESSでの保管	①【HP】PDF版 ②【ESS部室】原本保管 HP未掲載歴代パンフ14冊分

母校と連携した留学生への支援スタート

領域	評価	目標	目的・アクション
支援	△	オンラインでの 就職・海外勤務 相談会	現役生の就職・海外勤務に関する不安・疑問などに応える為。 22年3月開催、23年度未開催
支援	◎	第55回谷本杯争奪全日本学生 英語弁論大会運営サポート及び スピーチ指導	伝統ある全国レベル大会の継続 スピーチ指導は現役生の要望に基づき実施。
システム	○	HPに『現役生へのエール』 コーナー	現役生への就活サポートの為。 22年3月・23年4月投稿、23年度 投稿無し
活動	◎	アメリカ留学中の母校学生との 座談会	より良い留学生活が出来る様に 国際交流部との連携で、アメリカブロックと 日本側の留学経験者の協力を得て実施。 22年5月、22年10月 開催

現役生からの要望に基づき、英語弁論大会サポート

◆英語弁論大会スピーチ指導

2022年12月4日開催『第55回谷本杯争奪全日本学生英語弁論大会』
※現役生の要望に基づき、10月3日よりスピーチ教室スタート

【指導者】 杉本洋之（1979年卒） / 田坪紀美（1984年卒）

◆第55回谷本杯争奪全日本学生英語弁論大会結果

伝統あるこの大会には全国の大学から多数の応募があり、書類選考の結果、上智・立教・関西学院等の強豪校8名が残り、関西外大ESSからは2名参加。

関西外大ESSの長森好美さん(4回生)が見事に3位入賞！

◆EFEL基金

『**谷本杯争奪全日本学生英語弁論大会**』は、関西外大の創立者である谷本さんの名前を冠として使わせて頂いており、全国レベルの伝統ある英語弁論大会を継続させる為に**EFEL基金より、3万円支援**。

【支援金】 上位1～3位までのトロフィー・プライズクオカード代金 として充当。



アメリカ留学中 母校学生との オンライン第2回座談会

'22年10月1日

目的	ESS部員含む 米国留学中の外大生に「就職活動」 「大学院進学の悩み」「生活面」など でのアドバイス
----	-------------------------------------------------------------

講師*	アメリカブロック 野々山浩代リーダー(1981年卒) 細川幸治サブリーダー(1983年卒) 亀田 真二さん(1989年卒) 関東ブロック 水嶋直樹さん(2003年卒)
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------



*アメリカ/日本の実業界で活躍されている

◆関西外大 国際交流部主催でもあり ニュース欄 で再掲載されました！ ～詳細はサイトご参照～

*米国留学中の約10名と、E.S.S.（英語研究会）のOB・OGの座談会が10月1日、オンラインで開かれました。
 * 海外への留学派遣が今年の春に再開のあと、夏以降は約1000人が留学生活を送っています。
 E.S.S.のOB・OG会であるEFEL会の会員が自らの経験に基づいて話しました。

◆アンケート結果！ 全9名 【質問】機会があれば、また参加したいか？ →100%がYES！ (注)以下抜粋

良点	① 経験をベースにした親身で的確なアドバイス。 ② 目標に向けた努力の大切さが学べ、勇気をもらった。 ③ 興味分野別グループ分けて、効率的に話が聞けた。
----	------------------------------------------------------------------------------------

改善点	もっと質疑応答時間が欲しかった。(例えば・・・) ① 語学に縛られずに将来目標を決めるには？ ② 興味があることが多い場合、どう進路を絞り込むか？
-----	---------------------------------------------------------------------------------



EFEL

Everlasting Friendship through English Language



広報領域

2022年 事業報告

広報担当 副会長

丸谷 一也

2023年8月5日

① HP項目**領域・情報・質**の向上を目的として、**HPリニューアル**を実施。
興味・関心を引き易いコンテンツ・構成に変更。



同時に、最低限の更新であれば**外注不要**にし、**経費負担を軽減。**

② 将来の活動活性化の礎とする為、諸活動の**更なる見える化**に着手。
(例) **地域ブロック活動記事**など

③ **新企画**の**歴代部長インタビュー**記事掲載など**投稿カテゴリ増**による
※ **活動への興味・関心幅拡大**

領域・情報数・質向上

会の付加価値増大・会員・卒業生への活動理解促進

	主な新項目	旧項目	変更内容	(※)投稿数	内容・変更効果など
①	イベント情報	News & Topics	名称変更	6→8	スピーチ関連、懇親会、新年会、忘年会など
②	OB近況報告	同じ	新企画	5→5	より投稿し易い(新)インタビュー形式を採用。
③	現役生へのエール	同じ	交流広場内へ	1→1	近況報告に含まれることが多く、独立記事は限定的。
④	掲示板	同じ	内容変更	新	OBOG・現役年間活動日程/慶弔情報の見える化。
⑤	問合わせ	同じ	選択項目増	—	3項目増・データ添付も可能にし、使い勝手向上。
⑥	地域活動紹介	—	新メニュー	新 3	項目新設に加え、活動の見える化を可能にした。
⑦	広報	—	新メニュー	4	エッセイ、マスコミ記事、外大関連情報など掲載。

(※) 11~5月 前年比較

HPリニューアル① (ヘッダーメニュー)

【広報領域】

The screenshot shows the website's navigation menu with the following items circled in red: HOME, EFEL会とは (About us), 地域(ブロック)紹介 (Regional block), 交流広場 (卒業生&現役生交流), 広報 (Publicity), 掲示板 (Bulletin board), and お問い合わせ (Contact Us). A red arrow points from the 'お問い合わせ' menu item to a callout box on the right. Below the menu, a large blue box titled '選択項目増' (Increased selection items) lists: ①入会申し込み ②イベント・交流申し込み ③ご意見・ご要望 ④登録情報変更 ⑤慶弔報告 ⑥その他要件. Below this, a red box titled '新着情報' (New Information) with a 'NEW!' tag says '【新設】 NEW! 表示も追加' and '1ヶ月以内の投稿・更新情報更新などの一覧'. The main content area shows a list of news items with dates and 'NEW!' tags. At the bottom, a section titled 'OB近況' (OB Recent Status) with a '【継続】' tag shows a news item about the 11th ESS Director with a callout box listing: ①歴代部長や役員 ②会員からの投稿とインタビュー(新設)記事.

新設 メニュー部分

● EFEL会とは

- ① 母校からのメッセージ
- ② 会長ご挨拶
- ③ 創立・取組骨子
- ④ 会則
- ⑤ 役員一覧

● 地域(ブロック) 紹介

- ① 地域ブロック・地域担当実行委員 紹介
- ② 今後、地域毎の情報などで充実していく

● 交流広場 ～卒業生・現役生交流内容～

- ① 『現役生へのエール』
- ② 就職相談会
- ③ 英語圏Native社会人との交流
- ④ 米ブロックのみならず、他海外地域会員も対象とした情報

● 広報

- ① エッセイ・著書・講演紹介など
- ② 歴代パンフ
- ③ 外大関連情報

● 掲示板

- ① EFEL・現役生の年間活動・非定期イベントスケジュール
- ② 慶事
- ③ 旅立ちの報(計報)

HPリニューアル② (バナー&中下部)

【広報領域】



新設

+ 左バナー固定

● 年会費・基金ご協力のお願い 【継続】

● 総会・年間活動概要ご報告【新設】

- ① 決議事項
- ② 役員紹介
- ③ 22年度活動報告エッセンス
- ④ 23年度活動計画エッセンス
- ⑤ 22年度会計報告エッセンス
- ⑥ 事務局関連

左バナー形状図柄変更

- EFEL会 Facebook 【継続】
- ESS Twitter 【継続】
- EFEL会 旧HP 【継続】
- 思い出グラフィティ 【継続】
- 関西外大/大学同窓会HP 【継続】

【News&Topics】から項目名変更

- ① OBOGの諸々活動ピックアップ
- ② 谷本杯、英語弁論大会入賞者スピーチ紹介・大会後のメッセージ等
- ③ OBOG 年代別懇親会・忘年会・新年会

【新設】

TOPメニュークリックでも当記事にジャンプ。

【新設】

TOPメニュークリックでも当記事にジャンプ。

【内容変更】

TOPメニュークリックでも当記事にジャンプ。

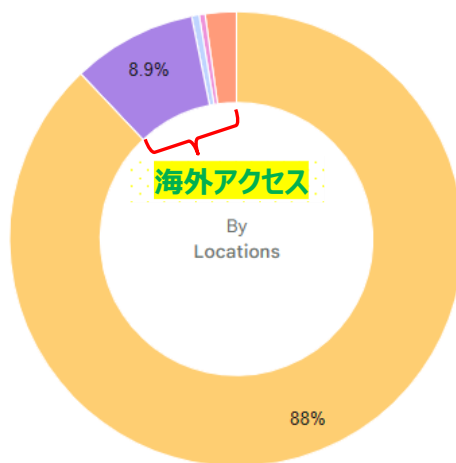
投稿内容の多様化等により総アクセス数大幅増

前年比+240回/+34%

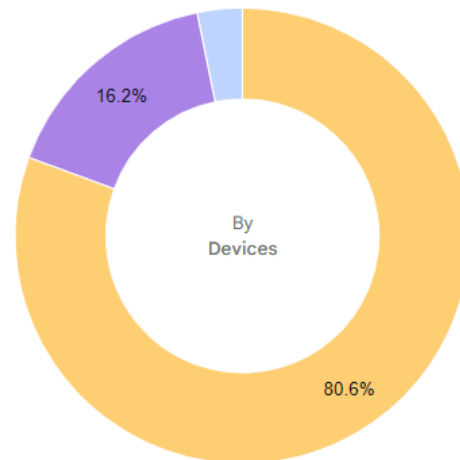
	22年5~7月	23年2~4月	23年3~5月
総アクセス数	697回	973回	937回 (前年比+34%)
対前3ヶ月	+7%	+48%	+16%
コンテンツ(最多PV)	スピーチコンテスト (180回)	—	第11代部長 吉川様インタビュー (125回)

★投稿内容・関心の多様化★

順位	投稿種類(23年3~5月)
1	第11代部長 吉川様インタビュー
2	HPリニューアル
3	関東ブロック懇親会
4	第14代部長 山下様インタビュー
5	会長 新年度ご挨拶
6	第3代部長 余崎様インタビュー
7	現役生 卒業ご飯会
8	中部ブロック懇親会
9	九州ブロック懇親会



● Japan ● United States ● Brunei ● China ● Others



● Mobile ● Desktop ● Tablet



EFEL

Everlasting Friendship through English Language



事務局領域

2022年度 事業報告

会長 水野 明洋 (代理)

2023年8月5日

**コロナ感染 制限下の上期はオンライン開催
総会・懇親会（現役生交流会）は3年ぶりに対面で開催**

総会・委員会・他イベント	日時(日本時間)	開催方式	場所
①役員・実行委員オンライン交流会	22年 6月18日、12月10日	オンライン	各自宅
②役員・実行委員会	22年 8月27日(土) 10:00-12:00	オンライン	各自宅
③総会	22年10月29日(土) 15:00-17:30	対面/オンライン	外大/各自宅
④懇親会(現役生交流会)	同 18:40-20:45	対面	がんこ枚方店
⑤ESSドラマ上演	22年10月28日(金)/29日(土)	対面	外大
⑥第55回谷本杯争奪 全日本学生英語弁論大会	22年12月4日(日)	オンラインのみ	各自宅

◆役員・実行委員オンライン交流会（ZOOMにて）

【目的】 EFEL活動活性化の為、役員・実行委員(地区/年代別)間で気軽に議論、同時にメンバー間の深交を図る。

【課題】上記目的で21年度から4回開催したが、参加者が限定され人数も少なくなってきた。

実行委員の皆さんから直接の声を聞く為に、何らかの対応が必要。

コロナ制限下ではオンライン開催中心、海外在住メンバー含めてのべ163名参加

地域	イベント種類	開催日	備考
【九州】	懇親会	22年9月24日	外大同窓会 九州支部設立総会後の二次会で懇親会開催 10名参加
【アメリカ】@LA 【全ブロック】	懇親会 新年会	22年7月29日/30日 23年1月28日	創設来 初の対面懇親会 12名参加 海外含めて30名参加

年代など	イベント種類	開催日	備考
創成期 年代別 1980/90年代 アメリカ在住者 +役員	懇親会 懇親会【全地域】 懇親会 懇親会【アメリカ】	22年4月23日 22年8月27日 22年9月25日 22年4月24日 ~23年2月12日	10名 14名 6名 4月24日(8名) 6月26日(7名)、8月21日(8名) 10月23日(9名)、12月11日(9名) 【23年】2月12日(10名)
2010-12卒	懇親会	23年3月25日	30名



アメリカブロック 創設来 初の対面 懇親会 をLAにて開催！

※'20年12月 アメリカブロック設立来、コロナ禍の中で対面交流出来ず。2ヶ月に1回 日米でオンライン交流会開催して来ました。

【'22年7月29~30日】



内容	<p>アメリカブロック設立懇親会 及び オレゴン州Portland State University留学中の現役生 長森さん歓迎会を兼ね開催。</p> <p>29日：LA郊外のトランスで夕食会、カラオケ 30日：レーガン大統領記念館見学の後、(ブロックリーダー)野々山さん宅にてBBQパーティー。</p>
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◆参加者 代表者からの声

野々山浩代さん：「皆さんの健康と安全に最も気を配りました。対面で初めてお会いする人、40数年ぶりに再会できた人、昔話に花が咲き**感極まる懇親会**となりました」

細川幸治さん：「対面での懇親会はZoom で味わえない**温かさ、人柄、その人の優しさ、そしてオーラが感じられた**と思います」

全12名 (敬称略・順不同)

参加者	*アメリカ在住メンバーの野々山浩代 & [パートナー] Henry	1981年卒	参加者	*亀田真二・友紀子夫妻	1989卒・1990卒
	*細川幸治と[三男]裕貴	1983年卒		*国吉正幸夫妻	1992年卒
	*フィッシャー <旧姓：速水> 敦子夫妻	1979年卒		*日本在住の杉本洋之	1979年卒
				*現役留学生の長森好美	4回生



EFEL

Everlasting Friendship through English Language



財務・会計領域 2022年度決算報告

財務・会計担当副会長

細川 幸治

2023年8月5日

'22年度 年会費 及び 寄付金 収支報告 【財務会計領域】

自 2022年4月 至 2023年3月

収入の部

(金額単位:円)

科目	今年度 予算額	今年度 実績		備考
			対予算	
会費収入	100,000	96,055	-3,945	
寄付金収入	10,000	71,356	61,356	総会後の懇親会でPR結果、参加者からご理解頂き、予定以上の寄付金を頂く。下記に会費納入者及び寄付者のリストを掲載しています。
金利収入	0	2	2	
収入の部 合計	110,000	167,413	57,413	

支出の部

事務用品費	1,000		-1,000	
交通費	5,000	1,980	-3,020	総会会場下見に伴う交通費一人分（八尾⇔関西外大）
通信費	2,000	2,289	289	監査関係書類等の郵送費（郵貯から支払い） パンフ送付費用934円、会計監査のための書類送付費用210円を含む
ホームページ アップデート費	0	0		広報担当役員でHPリニューアルした為、特に請求なし
Zoom費	23,000	22,100	-900	2023年分（1～12月）のZoom プロ代金
サーバ賃貸料 （2022, 2023年分）	8,000	7,920	-80	昨年分は田中さんが立替えて、EFEL会に請求してませんでしたので、 本年度分（1～12月）と合わせて2年分を支払いしております
会議費	1,100	0	-1,100	オンラインにて監査対応した為、発生0
振込手数料	660	630	-30	
卒業生への贈呈	0	5,000	5,000	新規企画として卒業生と現役生の『ご飯会』時に贈呈
その他	240	0	-240	
特別プロジェクト ESS歴代パンフ	9,000	0	-9,000	ESS部室での歴代パンフ保管用箱→本棚に収まったので発生0 歴代パンフHP掲載追加分予定していたが、発生0
支出の部 合計	50,000	39,919	-10,081	

純収支合計

純収入	60,000	127,494	67,494
-----	--------	---------	--------

次期繰越金	127,494
-------	---------

<監査結果>

左記、収支計算書につき、会計基準に則りその用途に関して適正に処理されているものと認めました。

(監査役) 田坪紀美
杉本洋之

<寄付金内訳>

中塚裕己様	10,000
川鱈祐子様	1,000
水野明洋様	12,000
田坪宏文・紀美様	10,000
親睦会参加者様	16,234
山下純一様	11,000
野々山浩代様	11,113
合計	71,356円

'22年度 EFEL基金 収支報告

自 2022年4月 至 2023年3月

(金額単位：円)

年月日	内容	収入	支出	差引残高	備考
2022/4/28	21年度 外国語大学弁論大会 奨励金 (3位)		5,000	257,182	
2022/4/19	現金書留封筒代金		21	257,161	
2022/4/19	書留郵送料金		519	256,642	
2022/4/19	硬貨入金手数料金		220	256,422	郵貯口座からの硬貨入金手数料 (2回分)
2022/5/9	長嶋俊樹様より	3,000		259,422	
2022/6/15	田坪宏文 紀美様より	5,000		264,422	
2022/6/27	森田浩二様より	10,000		274,422	
2022/8/22	普通預金利息	1		274,423	
2022/10/5	水野明洋様より	10,000		284,423	
2022/12/29	ESSへの援助金		35,000	249,423	運営費30,000円及び谷本杯3位入賞奨励金5,000円
2022/12/29	援助金手渡しのための交通費		1,980	247,443	
2022/12/29	目録封筒		913	246,530	830円及び税金83円
2022/12/29	振込手数料		440	246,090	
2023/2/20			1	246,091	
	今期収支合計	28,002	44,093		

増減

-16,091

期首残高

262,182

期末残高

246,091

<監査結果>

左記、EFEL基金 収支計算書につき、会計基準に則りその使途に関して適正に処理されているものと認めました。

(監査役)

田坪紀美
杉本洋之

引き続き 年会費/寄付金 及び EFEL基金へのご支援 宜しくお願いします。

◎口座残高

2023/6/30現在

(金額単位：円)

科目		額	備考
資産	EFEL会会費	393,384	郵貯口座での預金残高
	EFEL基金	246,091	SMBC口座での預金残高
	小計	639,475	
固定資産			
	小計		
合計		639,475	

EFEL会費	郵貯 残高	期首 '22年4月1日	265,890
		収支合計	127,494
		現在残高	393,384
EFEL基金	SMBC 残高	期首 '22年4月1日	262,182
		収支合計	-16,091
		現在残高	246,091

【年会費 及び 寄付金 振込口座】

★郵貯からお振込みの場合

郵貯銀行 : (記号) 14370
 口座番号 : 43562031
 名義 : EFEL

★郵貯以外の銀行からお振込みの場合

郵貯銀行 : 四三八(ヨンサンハチ)支店
 口座/番号 : 普通 4356203
 名義 : エフェル

【EFEL基金専用 振込口座】

金融機関 : 三井住友銀行 枚方支店
 店番 : 158
 口座 : 普通預金
 口座番号 : 4727175
 名義 : エフェル、カイケイ



2023～24年度 展開活動全般

水野 会長

テーマ： アクティブな会員の拡大 母校と連携した更なる現役生への支援

※(注)◆企画・総務及び活動推進・広報領域の【職業別座談会】提案について◆

臨時総会時、柿崎さんより諸外国にも適用される米国競争法およびその法令遵守運営の必要性についてのアドバイスを頂き、【職業別座談会】は【テーマ別座談会】に変更して運営する方向で検討中。

追記 2023年9月18日

アクティブな会員拡大・母校と連携した更なる現役生への支援

	目標	目的・アクション
新規	① 広報対象領域 拡大と掲載情報の質向上 インタビューメンバー拡大 23年2月スタート	① OBOGへの活動理解促進の為、 ESSの役員を経験された方にインタビュー
新規	② アクティブ会員拡大と財政強化	② EFEL活動 参画者増による展開
一部 新規	③ 各地区(ブロック)別/年代別交流会・懇親会 職業別懇親会	③ OBOG間のコミュニケーション促進。(オンライン) まずは教員関係者の懇親会トライ (オンライン)
継続	④ 外大同窓会 各支部総会/懇親会に連携して EFEL会員が参画	④ 北陸支部設立総会参加 '23年7月 EFEL10名 各支部総会/懇親会参加の積極的なPR
一部 新規	⑤ イベント全般	⑤ 対面活動復活(興味・趣味を主体とした交流会) 交通費、時間などの節約の為、オンライン並行継続
継続	⑥ Zoomアカウント: 会員に開示し利用促進	⑥ OBOGのコミュニケーション促進の為
新規	⑦ 定期的なEFEL情報発信	⑦ メールによるEFEL通信発行(メルマガ)

アクティブ会員拡大・母校と連携した更なる現役生への支援

	目標	目的・アクション
継続	オンラインでの就職・海外勤務 相談会	現役生の就職・海外勤務に関する不安・疑問などに応える為
継続	第56回谷本杯争奪全日本学生英語弁論大会【11/26(日)】 運営サポート及びスピーチ指導	伝統ある全国レベル大会の継続 スピーチ指導は現役生の要望に基づき実施 【先行配布版からの変更】 ※谷本杯日程確定：11/26(日) スピーカー(対面) オーディエンス(対面+オンライン) で検討中。
継続	HPに『現役生へのエール』コーナー	現役生への就活サポートの為
継続 新規	①アメリカ留学中の母校学生 (ESSメンバー含む)との座談会・講演会 ②EFEL活動理解促進	①より良い留学生活が出来る様に、 国際交流部と連携で、アメリカブロック及び日本側の留学経験者の協力を得て実施。 ②ESS役員メンバーとのインタビュー記事掲載



EFEL

Everlasting Friendship through English Language



企画総務領域

2023/24年度 事業計画

企画総務担当 副会長 細川 幸治

2023年8月5日

会員にとって価値ある活動を創造し、会員登録の継続更なる会員参画を促進する。

	価値ある活動の創造・促進	方法など	新規活動
1	会員への活動参加促進要請	Line、Facebook、EFEL会HP、オンライン交流会、懇親会を通じ	<p><EFEL通信発行> 相互コミュニケーション活発化し、会員にとっての価値の創造を図る。</p>
2	年代別、ブロック別実行委員の積極的活動、参加促進	<p>①同年卒業+上下2回生の知人、旧友に積極的にリーチアウトし、交流会への参加を促す。</p> <p>②メール/LINE等の連絡先など会員登録情報のアップデートをお願いする。</p> <p>③そのための面白い交流会を企画する。</p>	<p><興味・趣味を主体とした交流会イベントを企画> (例)絵画展、映画鑑賞会、ビアガーデン、ワインテイスティング、その他の楽しくワクワクするもの。</p>
3	卒業後は正会員となる事を理解してもらい積極的活動参加を促す	<p>①3/4回生中心に、EFELと現役生との接点を作れるイベント(就職活動相談会等)を行う。</p> <p>②FBへのメンバー加入を現役生に促す。</p>	<p><職業別ブロックを編成> ※(注)P28 年代・地域を超えた交流を促し、現役生にもアピールし参画を促す。 * 外大国際交流課と連携し、現役留学生(米、欧、アジア等含め) 座談会・相談会を企画。 外大におけるESS卒業生の活躍をアピールし、ESSの部員増加に寄与する。</p>

現役ESSへの支援 外大同窓会との連携 【企画総務領域】

現役生からの要望に応え、価値ある活動の推進

	イベント	内容	新規活動
1	英語弁論大会	スピーチ指導 EFEL基金からの経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ① 現役生要請により、杉本さん/田坪さん、その他EFEL会員からの指導、サポートを行う。 ② 伝統ある英語弁論大会を継続させるためにEFEL基金より3万円の支援金でトロフィー&プライズを贈呈する。
2	諸活動の援助	現役生からの要望を取り入れ、EFEL会としてできる限りの援助を行う。	海外で活躍しているEFEL会員との交流会・ディスカッション・外国社会人との話し合いの場等を計画中
3	就職相談会 就職活動支援	各業界で活躍しているEFEL会員への紹介、相談会を行い、現役生の就職活動支援を更に活性化させる。	国内外で業界毎のブロックを編成、現役生が世代を問わないイージーアプローチが出来るようにする。

関西外大 同窓会との連携

関西外大同窓会のイベントと連携してEFEL会イベントを企画し、より多くの参加を呼びかける。



EFEL

Everlasting Friendship through English Language



活動推進・広報領域 2023～24年度 事業計画

活動推進・広報担当 副会長 丸谷 一也

2023年8月5日

<キーワード>

興味をそそる投稿掲載拡充、世代毎・世代間の壁低く、相互コミュニケーション

	課題	改善案
1	閲覧者数の更なる増加	<ul style="list-style-type: none"> ①地域ブロック内での諸活動の更なる見える化。 ②題材枠に捉われない投稿を募る。
2	限られた投稿者層	<ul style="list-style-type: none"> ①世代別でのイベント機会の創出と簡易投稿の頻度増。
3	活動・投稿者数 伸び悩みによる 情報拡散力欠如	<ul style="list-style-type: none"> ①活動参加することでの見えない潜在プレッシャーの排除。 ②SNSなど容易な相互コミュニケーション方法の充実。 ③『EFEL通信』による情報発信と諸理解促進。
4	現役生に有用な活動・メッセージ の有効発信	<ul style="list-style-type: none"> ①就職相談領域：発信頻度を上げる。(国内外+世代間壁無し) (例)簡単な各種経験談を現役生に向け発信。

ポイント：活動積極参加呼びかけ、OBOGにも興味を持てる内容発信

	運営・投稿・発信ポイント	推進・発信内容概要
1	職業別交流会 世代問わず	現役生に有益な内容の纏め、発信。 [職業ブロック交流会の設置] ※(注)P28 * 教員・製造・金融・運輸航空・医療(薬品) 他諸事業
2	海外活躍中 OBOG交流	現役生、OBOG間でも有益な内容纏め、発信。
3	OBOGならではの個別の活動 ピックアップ・近況など	講演会、勉強会、絵画展、コンサートなど積極発信。
4	現役生に有用な経験談発信 の為の意見交換	スピーチに加え、ディスカッション、ディベート、ドラマ、 異文化コミュニケーションなどに於けるノウハウ・体験 に関する投稿発信。

**ポイント： どうすれば、現役生がEFELのHPや活動に関心を持ってくれるか？
その結果がOBOGの関心にも繋がる鍵となる。**

	活動・発信ポイント	推進・投稿・発信概要
1	※(注)P28 職業別交流会 年代問わず	現役生の参加も募る (Zoom) * 投稿・・・苦勞話、成功話、How to話などの投稿 * 模擬面接機会の設定 など
2	海外活躍中 OBOGとの交流	現役生の参加も募る (Zoom) * 海外ならではの成功・失敗談、今奮闘中のことなど発信。
3	OBOGの現役生訪問の機会	無コミュニケーションでは若い層の興味・関心は引けない。 * 訪問談も発信 → 現役・OBOG相互理解促進。
4	現役生に有用な経験談	スピーチに加え、 ディスカッション、ディベート、ドラマ、異文化コミュニケーション などに於ける ノウハウ・体験 など、現役生が関心のある内容を上手く発信。



EFEL

Everlasting Friendship through English Language



財務会計領域 2023/24年 事業計画

財務会計担当 副会長 重成 美雪

2023年8月5日

'23年度 年会費 及び 寄付金 予算計画

【財務会計領域】

自 2023年4月 至 2023年9月

収入の部

(金額単位：円)

科目	今年度 予算額
会費収入	5,000
寄付金収入	5,000
雑収入	0
収入の部 合計	10,000

支出の部

事務用品費	1,000
交通費	5,000
通信費	2,000
ホームページ アップデート費	0
Zoom費	0
サーバ賃貸料 (2022, 2023年分)	0
振込手数料	660
卒業生への贈呈	0
特別プロジェクト ESS歴代パンフ	0
支出の部 合計	8,660

純収支合計

純収入	1,340
-----	-------

○収入の部

*会費/寄付金収入：

*今まで予算年度末の3月目標に年会費納入PR
をしていたが、23年度は予算期間が6ヶ月なので
低めに目標設定

○支出の部

*事務用品： コピー・印刷インク代金

*通信費： 書類送付代金

*交通費： 学生との会議 2～3回

'24年度 年会費 及び 寄付金 予算計画

自 2023年10月 至 2024年9月

収入の部

(金額単位:円)

科目	今年度 予算額
会費収入	50,000
寄付金収入	50,000
雑収入	0
収入の部 合計	100,000

支出の部

事務用品費	1,000
交通費	5,000
通信費	2,000
ホームページ アップデート費	0
Zoom費	23,000
サーバ賃貸料 (2024年分)	4,000
振込手数料	1,320
卒業生への贈呈	5,000
特別プロジェクト ESS歴代パンフ	0
支出の部 合計	41,320

純収支合計

純収入	58,680
-----	--------

○収入の部

*会費/寄付金収入：

21/22年度実績をベースとして目標設定

*対面イベント（総会/懇親会等）で積極的にPR

○支出の部

*事務用品： コピー・印刷インク代金

*交通費： 学生との会議 2～3回

*通信費： 書類送付代金

*ホームページアップ費

： 活動推進・広報チーム内で対応

*ZOOM費/HPサーバ賃貸料

： 毎年1月に年会費支払い

*卒業生への贈呈

： 卒業生記念品贈呈援助金

<2022年度>

運営委員長 水野明洋
副委員長 丸谷一也
財務部長 細川幸治
委員 遠藤秀剛
委員 藤澤リエ

監査 杉本洋之
監査 田坪紀美

遠藤秀剛さん/藤澤リエさん
運営委員として対応どうもありがとうございました！

(注) 赤字 = 退任、青字 = 新メンバー

<2023-24年度>

運営委員長 水野明洋
副委員長 丸谷一也
財務部長 重成美雪
委員 細川幸治
委員 与十田将也

監査 杉本洋之
監査 田坪紀美

改定前

● 第 2 条 (事 務 局)

本会は、事務局を〒573-1008大阪府枚方市御殿山南町6-1に所在する関西外国語大学 E S S (English Studying Society) (以下「E S S」という)内におく。

第 4 条 (使命並びに目的)

本会の目的並びに使命は下記の通りである。

1. 会員相互の親睦を図る。
2. 関西外大のESS旧部員としての自覚、責任、自信、経験を活かして、ESSの伝統文化、風土を継承し、現役ESS部員の活動、発展に対し援助をする。
3. 今後の関西外大の発展に寄与する。

赤文字部分が改訂箇所
青字は先行配布版からの変更

改定後

第 2 条 (事務局)

本会は、事務局を会長自宅内におく。

改定理由:

郵便局/銀行等届け先として住所登録しているが、現行ESS部員に迷惑かけず、且つ迅速に対応出来るようにEFEL事務局を会長自宅内に変更する。

第 4 条 (使命並びに目的)

本会の目的並びに使命は下記の通りである。

1. 会員相互の親睦を図る。
2. 関西外大のESS旧部員としての自覚、責任、自信、経験を活かして、ESSの伝統文化、風土を継承し、現役ESS部員の活動、発展に対し援助をする。
3. 今後の関西外大の発展に寄与する。
4. 但し、営利企業や特定の政治団体、宗教団体、反社会的勢力等への利益供与や勧誘などの諸活動、並びにこれらに類似する行為は厳にこれを慎み、個人的な営利につながる活動は一切行わない。

2023年8月5日

第1条 (名称)

本会は、EFEL (Everlasting Friendship through English Language)と称する。

第2条 (事務局)

本会は、事務局を会長自宅内におく。

第3条 (会員) 本会は、次の会員で組織する。

1. 正会員：関西外国語大学・短期大学部に在籍し、ESSに所属していた者。
2. 準会員：現役ESS (English Studying Society) (以下「ESS」という)メンバー (EFEL窓口担当者を含む)。

第4条 (使命並びに目的)

本会の目的並びに使命は下記の通りである。

1. 会員相互の親睦を図る。
2. 関西外大のESS旧部員としての自覚、責任、自信、経験を活かして、ESSの伝統、文化、風土を継承し、現役ESS部員の活動、発展に対し援助をする。
3. 今後の関西外大の発展に寄与する。
4. 但し、営利企業や特定の政治団体、宗教団体、反社会的勢力等への利益供与や勧誘などの諸活動、並びにこれらに類似する行為は厳にこれを慎み、個人的な営利につながる活動は一切行わない。

第5条 (活動)

本会は、前条の目的を達成するために、次の各号の活動を行う。

1. 全ての会員相互の親睦、交流を促進する活動を企画、運営する。
2. 同期会や同世代会、あるいはエリア会等の活動の組織化を促進する。
3. 会員名簿を作成する。

赤字部分が改訂箇所
青字は先行配布版からの変更

4. ホームページを開設し会報等の会員情報誌(メールマガジン)を発行する。
5. ESSとの交流や後援活動を行う。但し、後援活動に関しては、ESSから要請があり、且つ役員会が必要と認めた場合にのみこれを行う。
6. その他、前条目的達成のために役員会が必要、或いは妥当と認めた活動。

第6条 (役員)

本会は、次の役員をおき役員会を構成する。役員は全て総会で選出し、その任期は2年とし再任は妨げない。欠員補充によって就任した役員の任期は、前任者の残余期間とする。

役員はスムーズな業務展開を行う為、別途実行委員を任命する。実行委員の任期は2年とする、

1. 会長 1名
2. 副会長 3名 (企画総務担当、活動推進・広報担当、財務会計担当)
3. 監査役 2名

第7条 (役員の仕事)

1. 会長は、本会を代表し、会務を統括する。総会および役員会の議長を務める。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
3. 副会長 (企画総務担当) は、実行委員会を組織し、本会の企画総務業務を行う。
4. 副会長 (活動推進・広報担当) は、実行委員会を組織し、本会の活動推進・広報業務を行う。
5. 副会長 (財務会計担当) は、実行委員会を組織し、本会の財務並びに会計業務を行う。
6. 監査役は、会計監査を行い総会で報告する。他、役員会に出席し、会務が適法に運営されているか監視する。上記の役職に就いている現行の役員名を別途、現行役員名簿として付与する事とする。

赤文字部分が改訂箇所

(名誉会員)

1. 本会には名誉会員として相談役、顧問を置くことができる。
2. 名誉会員は、本会の運営に貢献した者を会長が推薦、役員会で承認し総会で報告する。
3. 相談役、顧問は必要に応じ、会長が会議への出席を求めることができる。

第8条 (総会および臨時総会)

1. 総会は、原則年一回開催され、次の事項を審議し、出席者の過半数をもつて議決する。可否同数の時は、議長がこれを決する。予め指定の書式をもつて決議への意思表示をした者は、これを出席者とみなす。
 - (1) 役員を選出に関する事項
 - (2) 事業報告および収支決算ならびに事業計画および予算案に関する事項
 - (3) 会則の改定に関する事項
 - (4) その他、役員会が必要と認めた事項
2. 臨時総会は、役員会が必要と認めた場合にこれを開く。
3. 総会および臨時総会は、会長が招集し、議長は会長が務める。
4. 総会は、会員夫々が遠隔地に点在することにより、インターネット上での総会をもってこれに代えることが出来る。

第9条 (会計、会費の使用用途、および会計年度)

1. 本会の会計は、会費および寄付金その他をもつて充てる。
2. 会計年度は、毎年**10月1日**に始まり翌年**9月30日**をもつて終了する。
3. 会費の使用用途は、本会の目的並びに本会の目的をより良く達成するためのみに使用され、その妥当性及び千円を超える支出について、役員会で事前承認されるものとする。会計は財務会計担当実行委員に委嘱し、預金に関する代表者を副会長（財務会計担当）にする。

赤文字部分が改訂箇所

第10条 (会費)

1. 正会員は、年額1,000円の会費を納める。複数年分一括納付を妨げない。
該当年の年会費最終納入日は当該**予算**年度末の**9月30日**とする。
2. 準会員は、会費を免除される。
3. 会員は、住所、氏名、E-mail アドレス、勤務先等登録内容に変更を生じた場合は、
遅滞なく副会長(**企画総務担当**) 宛てに届け出る。

第11条 (個人情報の利用目的)

会員から入手した個人情報は、**副会長(企画総務担当)** が責任を持って管理し、EFEL会活動においての連絡や行事の案内、質問に対する回答として、電子メールや資料の送付に利用する。
個人情報は、いかなる商業団体、個人の利益のための使用を固く禁ずる。

付 則 本会則は、平成21(2009)年11月21日より施行する
本会則は、平成22(2010)年11月6日に一部改正する
本会則は、平成24(2014)年11月3日に一部改正する
本会則は、平成28(2016)年10月29日に一部改正する
本会則は、平成29(2017)年11月12日に一部改正する
本会則は、平成30(2018)年10月27日に一部改正する
本会則は、令和4(2022)年10月29日に一部改正する
本会則は、令和5(2023)年8月5日に一部改正する

赤文字部分が改訂箇所

現行役員名簿 令和5(2023年)年8月5日現在

会長 :	水野 明洋
企画総務担当副会長 :	細川幸治
企画総務担当実行委員 :	与十田 将也
活動推進・広報担当副会長 :	丸谷 一也
活動推進・広報担当実行委員 :	賀儀山 泰志
財務会計担当副会長 :	重成美雪
監査役 :	杉本 洋之
監査役 :	田坪 紀美

赤文字部分が改訂箇所



EFEL

Everlasting Friendship through English Language

